

## 県庁舎で営巣しているハヤブサのヒナの成長について

県庁舎で営巣している県絶滅危惧種のハヤブサについて、平成26年から4年連続でヒナの誕生が確認されました。平成30年は、4月24日(火)に5羽のヒナが誕生しました。その後、職員が、ヒナの成長に影響を与えないように配慮しながら観察してきた様子を紹介いたします。

### 1 ヒナの成長について

- ・親鳥は、1日に何度も餌をヒナたちに与えており、ヒナたちは競い合うように親から餌をもらっています。
- ・ふ化した5羽のヒナのうち2羽は、残念ながら死亡したようです。
- ・残った3羽のヒナたちは、すくすくと成長し、少しずつ羽が生え変わり始めています。

### 2 ハヤブサについて

ハヤブサ科。

希少種カテゴリー：県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類  
国レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類  
国内希少野生動植物種

生態：海岸部の生態系の頂点に位置する鳥。県内では能登半島と加賀地方の海岸で繁殖。

### 3 県庁舎でのハヤブサの営巣

ハヤブサは、高所から獲物(鳥など)を探ることができる海岸近くの断崖に営巣する習性があり、県庁舎の高層階のベランダは、ハヤブサの営巣場所に適していたと考えられます。

- ・県庁舎では平成17年から産卵が確認されていたもので、平成26年に初めて繁殖に成功し、3羽のヒナが生まれ、無事に巣立ちしました。
- ・平成27年には4羽のヒナが、平成28年、平成29年には5羽のヒナが誕生し、全て巣立ちしています。
- ・県では、繁殖成功に向け、専門家の指導を受け、ベランダに砂を敷き、また窓のブラインドを下ろし刺激しないようにするなど留意をしてきました。
- ・今回のヒナ誕生や成長については、自然環境課ホームページにて紹介中です。  
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>

### 4 取材について

ヒナの保護の観点からマスコミの現地取材は、ご遠慮下さい。

※写真及び動画データを提供します。必要な社はご連絡下さい。

(連絡先：生活環境部自然環境課 外線 076-225-1476/内線 4264)



ふ化後約1週間後のハヤブサのヒナ（平成30年5月1日撮影）（約38秒 動画データあり）



ヒナに餌を与える親鳥（平成30年5月5日撮影）（約30秒 動画データあり）



ふ化後約3週間後のハヤブサのヒナ（平成30年5月14日撮影）（約15秒 動画データあり）